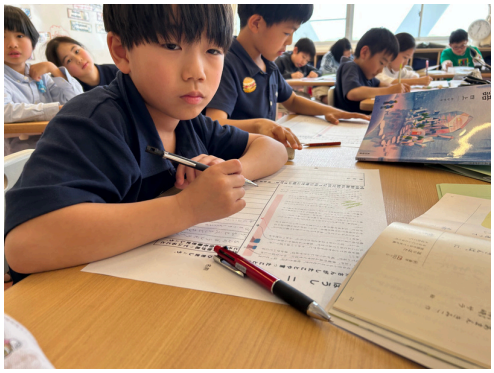
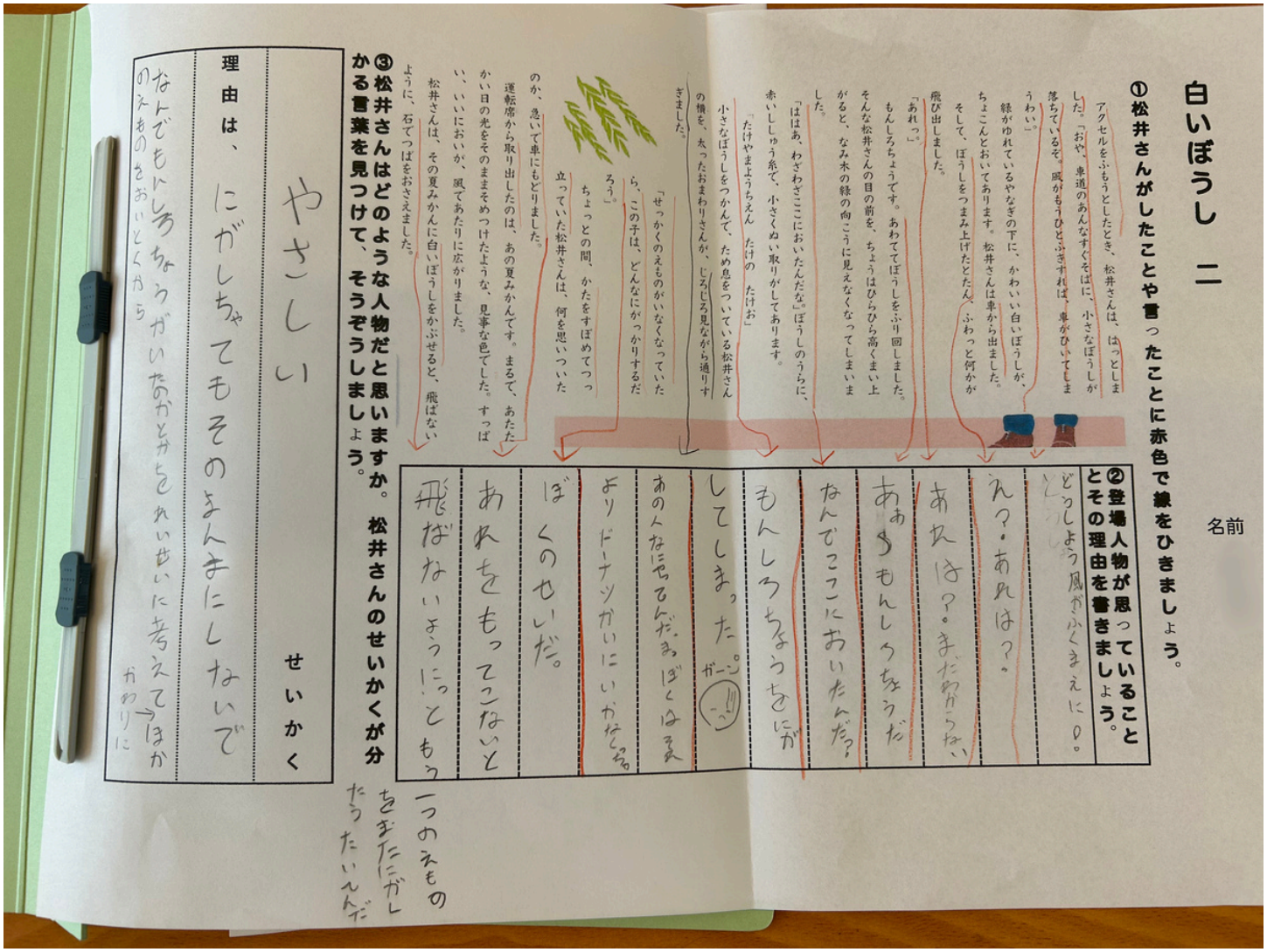
THE FANTASTIC FOURTH
(FORCE - 協力→成長)

瀬戸SOLAN学園初等中等部
2026年度第４学年 学年通信
第７号 ４月２０日発行
国語「白いぼうし」

国語「白いぼうし」

４月の国語は物語「白いぼうし」です。
ここでは、書かれていることを根拠に「登場人物の性格」を読み取るなど、やや抽象的な内容を扱います。ちなみに4-2では、第1場面の松井さんの性格を「優しい」「親切」「おしゃべり好き」「みかん好き（反論あり）」とまとめました。





白いぼうし　二　　名前

①松井さんがしたことや言ったことに赤色で線をひきましょう。

アクセルをふもうとしたとき、松井さんは、はっとしました。「おや、車道のあんなすぐそばに、小さなぼうしが落ちているぞ。風がもうひとふきすれば、車がひいてしまうわい。」
緑がゆれているやなぎの下に、かわいい白いぼうしが、ちょこんとおいてあります。松井さんは車から出ました。
そして、ぼうしをつまみ上げたとたん、ふわっと何かが飛び出しました。
「あれっ！」
もんしろちょうです。あわててぼうしをふり回しました。
そんな松井さんの目の前を、ちょうはひらひら高くまい上がると、なみ木の緑の向こうに見えなくなってしまいました。
「ははあ、わざわざここにおいたんだな。」ぼうしのうらに、赤いしゅう糸で、小さくぬい取りがしてあります。
「たけやまようちえん　たけの　たけお」
小さなぼうしをつかんで、ため息をついている松井さんの横を、太ったおまわりさんが、じろじろ見ながら通りすぎました。
「せっかくのえものがいなくなっていたら、この子は、どんなにがっかりするだろう。」
ちょっとの間、かたをすぼめてつっ立っていた松井さんは、何を思いついたのか、急いで車にもどりました。
運転席から取り出したのは、あの夏みかんです。まるで、あたたかい日の光をそのままそめつけたような、見事な色でした。すっぱい、いいにおいが、風であたりに広がりました。
松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、飛ばないように、石でつばをおさえました。

②登場人物が思っていることとその理由を書きましょう。

どうしよう風がふくまえに！
えっ？あれは？
あれは？まだわからない
あぁ！もんしろちょうだ
なんでここにおいたんだ？
もんしろちょうをにが
してしまった。ガーン
あのムシたちだ。ぼくはまよ
よりドーナツがいいかなぁ。
ぼくのせいだ。
あれをもってこないと
飛ばないようにしてもう一つのえものをまたにがしたらたいへんだ

③松井さんはどのような人物だと思いますか。松井さんのせいかくが分かる言葉を見つけて、そうぞうしましょう。

やさしい　　せいかく

理由は、にがしちゃってもそのまんまにしないでなんでもいしろちょうがいたかとかもれいせいに考えてほかのえものをおいとくから　ほかがわりに